

化学物質強調月間・ 資格・掲示・その他

化学物質管理ルール実態調査の事例

before



化学物質管理の社内規程は有ったが、現場の管理実態は把握できていなかった。

（写真は化学物質に触れる際に手袋を外すように指示している事例）

after



2月の化学物質管理強調月間に化学物質パトロールを実施。

現場に対して化学物質管理の規程が守られているか確認と規程遵守の為のアドバイスをを行った。

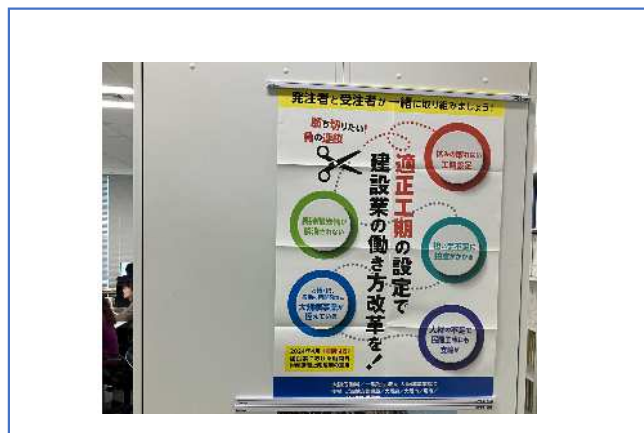
（化学物質は手袋着用して使用）



株式会社エクセディ

化学物質管理者及び保護区着用管理責任者の掲示の事例

before



化学物質管理者及び保護区着用管理責任者を選任し、メールで周知していたが、掲示はしていなかった。

after



メールでの周知に加え、化学物質管理者及び保護区着用管理責任者を見やすい場所に掲示して周知した。

株式会社 大林組 大阪本店

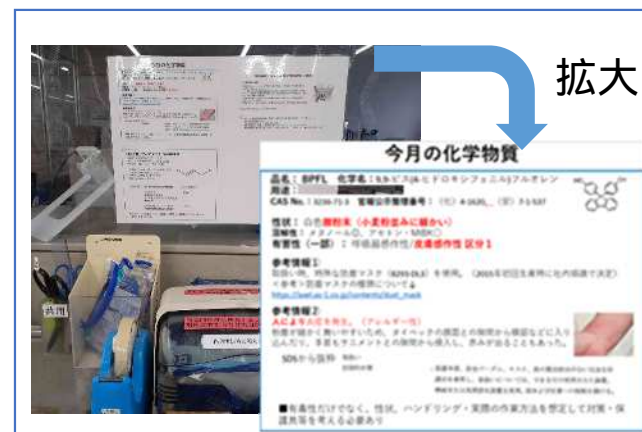
有害性に対する意識向上教育事例

before



実験室内で使用する化学物質について、有害性等を情報が十分に伝わっていなかったり、どのような薬傷になるか認識していない可能性がある。

after



有害性に対する意識向上の為、実験室の誰もが目にする位置に、『今月の化学物質』という掲示物にて、化学物質の有害性や薬傷事例を周知することとした。

高压化学工業株式会社

保護具着用責任者義務化対応迅速化

before

安衛法改正

項目	改正前	改正後
1. 労働安全衛生法第65条第1項	労働安全衛生法第65条第1項	労働安全衛生法第65条第1項
2. 労働安全衛生法第65条第2項	労働安全衛生法第65条第2項	労働安全衛生法第65条第2項
3. 労働安全衛生法第65条第3項	労働安全衛生法第65条第3項	労働安全衛生法第65条第3項
4. 労働安全衛生法第65条第4項	労働安全衛生法第65条第4項	労働安全衛生法第65条第4項
5. 労働安全衛生法第65条第5項	労働安全衛生法第65条第5項	労働安全衛生法第65条第5項
6. 労働安全衛生法第65条第6項	労働安全衛生法第65条第6項	労働安全衛生法第65条第6項
7. 労働安全衛生法第65条第7項	労働安全衛生法第65条第7項	労働安全衛生法第65条第7項
8. 労働安全衛生法第65条第8項	労働安全衛生法第65条第8項	労働安全衛生法第65条第8項
9. 労働安全衛生法第65条第9項	労働安全衛生法第65条第9項	労働安全衛生法第65条第9項
10. 労働安全衛生法第65条第10項	労働安全衛生法第65条第10項	労働安全衛生法第65条第10項
11. 労働安全衛生法第65条第11項	労働安全衛生法第65条第11項	労働安全衛生法第65条第11項
12. 労働安全衛生法第65条第12項	労働安全衛生法第65条第12項	労働安全衛生法第65条第12項
13. 労働安全衛生法第65条第13項	労働安全衛生法第65条第13項	労働安全衛生法第65条第13項
14. 労働安全衛生法第65条第14項	労働安全衛生法第65条第14項	労働安全衛生法第65条第14項
15. 労働安全衛生法第65条第15項	労働安全衛生法第65条第15項	労働安全衛生法第65条第15項
16. 労働安全衛生法第65条第16項	労働安全衛生法第65条第16項	労働安全衛生法第65条第16項
17. 労働安全衛生法第65条第17項	労働安全衛生法第65条第17項	労働安全衛生法第65条第17項
18. 労働安全衛生法第65条第18項	労働安全衛生法第65条第18項	労働安全衛生法第65条第18項
19. 労働安全衛生法第65条第19項	労働安全衛生法第65条第19項	労働安全衛生法第65条第19項
20. 労働安全衛生法第65条第20項	労働安全衛生法第65条第20項	労働安全衛生法第65条第20項

各職場に応じた
責任者配置が必要
それに伴い**教育、
資格取得を要する**

問題点：安衛法改正に伴い
保護具着用責任者配備
内容：保護具着用責任者の選任
義務化

after

保護具着用管理責任者の義務化

本社一括
教育による
迅速対応

対応 2024年4月 ~
Step
1. 職場毎に責任者必要数洗い出し
2. 本社安全資格取得教育実施
3. 上図、工程掲示板に責任者掲示

ダイト工業（株） 京都（大山崎）工場

化学物質関連表示例

化学物質管理者、保護具着用管理責任者を選任し、氏名を事業場の見やすい箇所に掲示すること等により関係労働者に周知させなければならない。

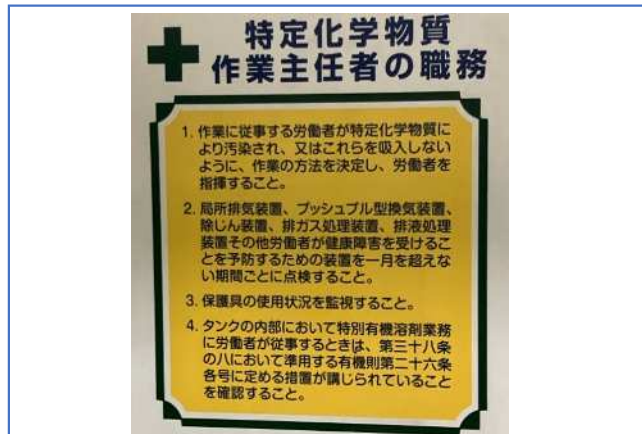


現場事務所に化学物質管理者、
保護具着用管理責任者を表示

タツタ電線株式会社 大阪工場

関係者立入禁止の事例

before



特定化学物質作業主任者の職務表示だけで他者の出入りが容易であった。

after



関係者以外立入禁止を掲示して周囲関係者に注意喚起を促した。

A社の取組み

保護具着用管理責任者・化学物質管理者選任の事例

before



保護具着用管理責任者・化学物質管理者の選任を行っていなかった。

after

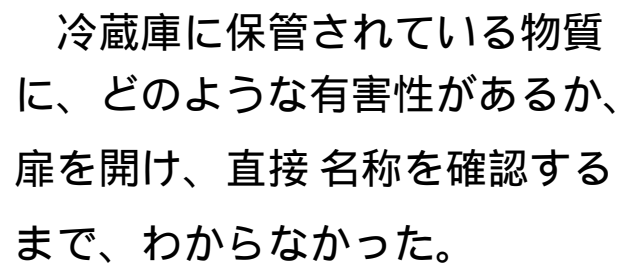


2023年より外部講習の受講を推進し、現在は全ての事業所に保護具着用管理責任者・化学物質管理者がいる状態にした。

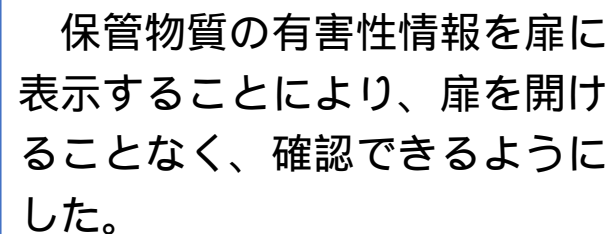
その他、部署毎に1名の保護具着用管理責任者・化学物質管理者がいる状態にした。

株式会社エクセディ

before



after



高压化学工業株式会社

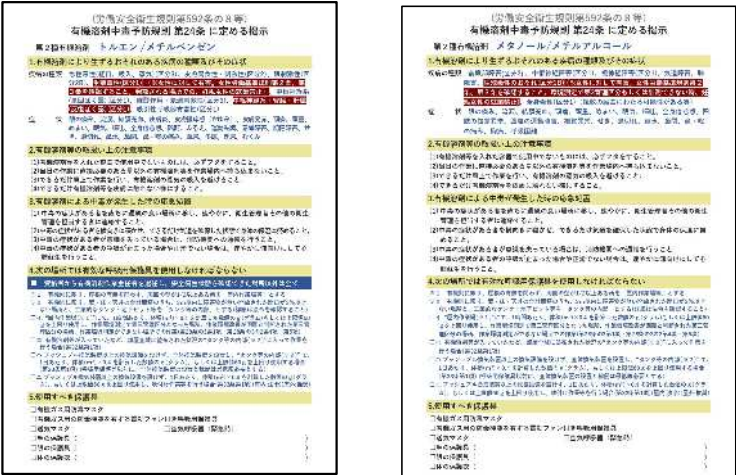
安衛則592条の8等に従った掲示物

before



令和5年3月29日基発0329第32号、労働安全衛生規則第592条の8等で定める、有害性等の掲示内容についての対応ができていない作業所が幾つかあった。
(旧タイプでの掲示状況)

after



労働安全衛生規則第592条の8等で定める、有害性等の掲示物を内勤部署で一括して作成し、全作業所に配信した。また、材料毎に含まれる化学物質のリストを作成し、作業所に適合した掲示物を選択して、掲示を行えるようにした。(58種のシート)

竹中工務店 大阪本店管轄 作業所全般

有害性等の掲示物で、視認性の高い要点版を作成


before



労働安全衛生規則等で定める有害性を掲示する場合、内容が細かすぎて限られたスペース（紙面やデジタルサイネージ画面）では文字が小さくなったり、文字がつぶれる等、内容を理解しにくい課題があった。

after

安衛則592-8等、有機則24条 掲示の要点
第2種有機溶剤 **キシレン / ジメチルベンゼン**



1. 有機溶剤作業主任者の資格者が必要
2. 基本、防毒マスクが必要！少量で、マスクをしたくない場合は、資格を持つ責任者に確認
3. 直ぐにフタを開けて、密閉する。施錠保管
4. 発散する場所は、他業者の立ち入り禁止措置を
5. 前眼部に障害のおそれがあり、保護眼鏡をする
6. 皮膚障害のおそれがある。ニトリルゴム、ブチルゴム、フッ素ゴム（バイトン）の手袋を
7. 気化したガスが、口・鼻・食道・皮膚から侵入、中枢神経障害・肝障害・腎障害を起こす
8. 体に蓄積し、将来の胎児に悪影響のおそれがある。女性の就業が禁止の条件があり、女性労働基準規則第2条、第3条を確認
9. 燃え広がるので、消火に水はダメ

など

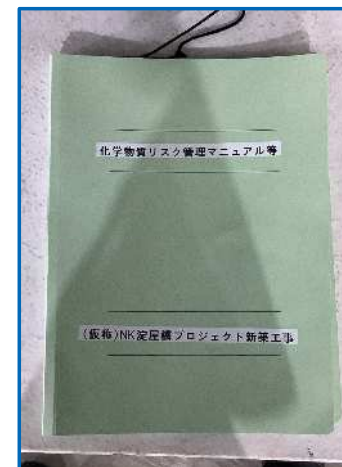
有害性の内容や、注意事項等を具体的に要点を絞って表示することで、大きな文字で、分かりやすい掲示物を作成した。また、有害物が、どの材料に含有されているのかという“イラスト”を入れ、作業員へ分かりやすいものを作成した。

竹中工務店 大阪本店管轄 作業所全般

化学物質管理者選任を徹底、事業者ごとの自律管理

before

after



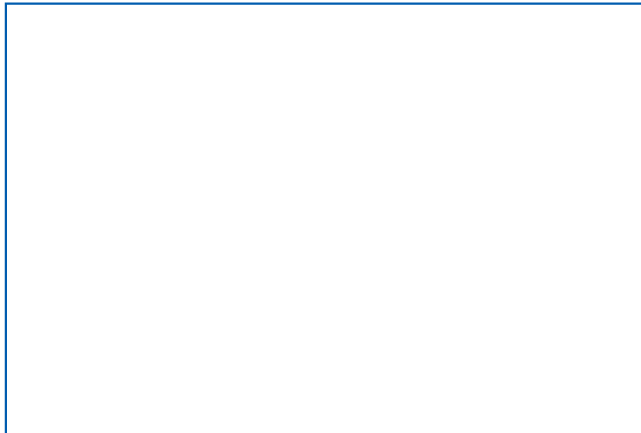
大規模な作業所では、作業員一人ひとりへの安全衛生指導の徹底が課題であった。

化学物質の法改正に対応するため、各事業主に化学物質管理者を選任してもらい、一覧表を朝礼場に掲示し適切な管理体制を整えたことで、作業員一人ひとりが安全衛生管理を徹底し、適切に作業を行えるようになった。

竹中工務店 NK 淀屋橋共同ビル作業所

ステンレス製品の洗浄作業場の改善

before



洗浄薬品の予備（在庫）は洗浄作業場近くの棚に置いていた。



after



- 予備の棚について改善を行った。
- ・各薬品ごとにSDSシートを掲示した
 - ・棚が地震などで転倒しないように固定
 - ・棚から薬品が落下しないように棚を取付

G社 関西工場

有機溶剤の取扱に関する教育資料作成の事例

before



工事現場からの排水処理を行うPH中和設備に希硫酸を使用していたが、化学物質としての有害性等をよく理解していないと、取り扱い時に障害を負う危険性があった。

after



希硫酸のSDSとリスクアセスメント結果をPH中和設備の仮囲いフェンスに掲示することにより、取り扱い時の注意事項とばく露した際の対処法が分かりやすく確認できるようになった。

H社 関西支店

保護具着用管理責任者等の選任者の所属会社・氏名を掲示した事例

before



法改正以前は化学物質管理者・保護具着用管理責任者という化学物質管理上の責任者の定めがなかった。

after

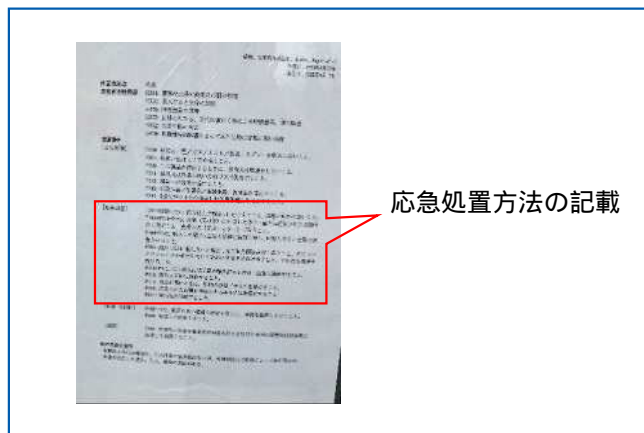


法改正に伴い化学物質管理者・保護具着用管理責任者の選任と、選任者を掲示等により周知することが義務付けられたため、工事現場の安全掲示板等に掲示を行った。

株式会社鴻池組 大阪本店

応急処置表示・漏液警報装置の事例

before



SDS等の表示をしても、応急処置等の記載など一目ではわかりずらく、非常時に対応が遅れる可能性があった。

株式会社大林組 大阪本店
加納元町シールドJV工事事務所

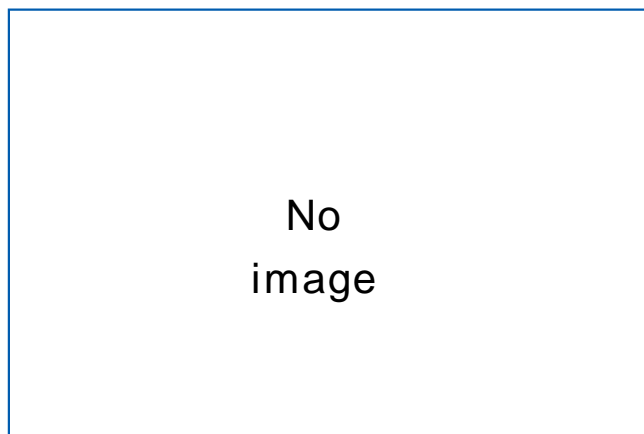
after



SDSの表示とは別に、応急処置の方法が一目でわかるような表示を掲示した。また、水道の蛇口の場所もわかるような表示もすることで、スムーズに応急処置が行えるようにした。また、漏出検出時の警報をパトライトとすることで認識しやすくした。

有機溶剤の取扱に関する教育資料作成の事例

before



有機溶剤を取扱う際に気を付けるべき点や危険性は口頭や掲示でのみ展開されていた。

after

危険有害性クラスと区分（強さ）
弊社が取扱う溶剤に記載が多いマークは、下記表記枠のもの

<危険有害性クラスと区分（強さ）に応じた絵表示と注意書き>

 【燃焼性】 可燃性・引火性液体・ 可燃性固体・ 自己反応性化学物 など	 【肉上の腐食】 全壊性・腐化性ガス 腐化性液体・固体	 【爆発の危険】 爆発物 自己反応性化学物 有機過酸化物
 【健康性】 加温腐食性物質 皮膚腐食性 眼に対する重大な 損傷性	 【ガスボンベ】 高圧ガス	 【どくろ】 急性毒性 （区分1～3）
 【感嘆符】 急性毒性（区分4） 皮膚刺激性（区分2） 刺激性（区分2A） 皮膚腐蝕性 特定種の眼刺激性 （区分3） など	 【環境】 水生環境有害性	 【健康有害性】 呼吸器刺激性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定種の眼刺激性 （区分1、2） 塩刺激性呼吸器有害性

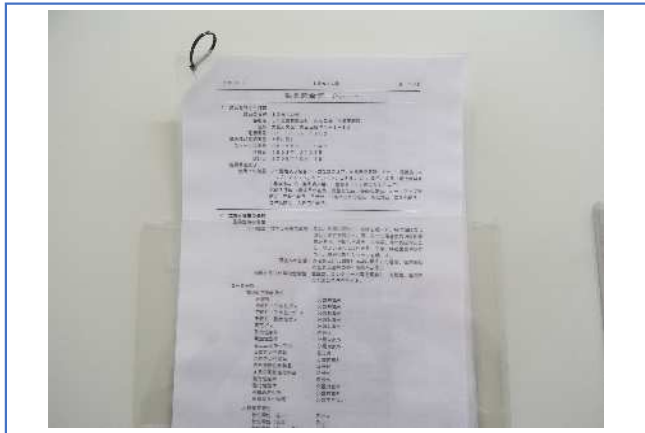
資料一部抜粋

有機溶剤を取扱う際に気を付けるべき点や危険性をまとめ、教育資料として活用出来るようにした。

ウツエバルブ株式会社

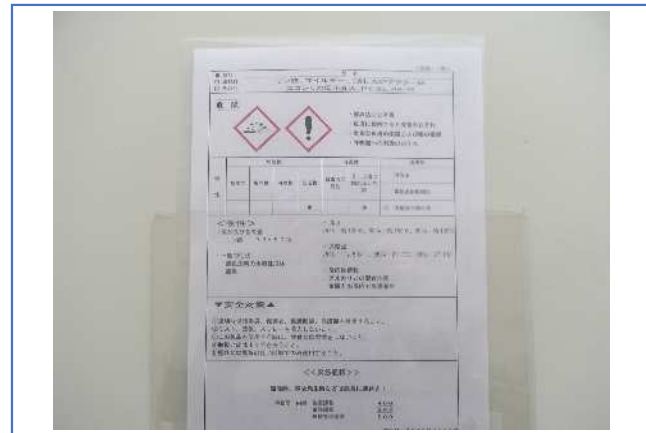
リスクアセスメントの事例

before



現場の化学物質使用箇所付近に対象化学物質のSDSを掲示しており、使用する化学物質の危険性、有害性などの化学的物性、漏洩時の処置等の緊急措置といった必要な情報を得るのに時間がかかっていた。

after



SDSをもとに情報カードを作成し、現場の化学物質使用箇所付近に対象の情報カードを掲示することで、使用する化学物質の危険性、有害性などの化学的物性、漏洩時の処置等の緊急措置が視覚的にわかるようにした。

ラサ工業株式会社 大阪工場

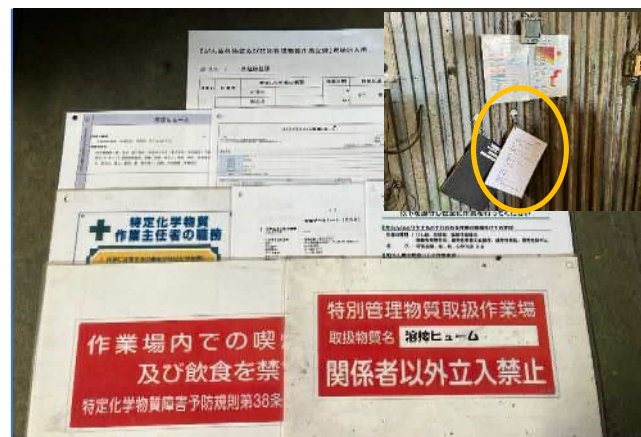
掲示物・SDSをとりまとめた事例

before



溶接作業時の掲示物について
毎回溶接をする作業場所が異なる為、SDSを含む掲示物を掲示するの事が難しかった。

after



溶接作業に必要な掲示物をラミネート加工し、1つの束としてまとめて、どこでも溶接作業をおこなう事ができるようまとめて持ち運べるようにした。

日鉄テックスエンジニア株式会社

事例 安全データシート（SDS）のデジタル化

before



各製造現場で使用する化学物質について、紙ベースのSDSを保管していたが、内容が更新されていなかったりSDSが保管されていない化学物質が散見され、危険性の周知に不備があった。また書類保管スペースを占有していた。

after



各製造現場用のPCフォルダー内に工場内使用化学物質のSDS保管場所を作成し、必要に応じてSDSを確認できる状態を確保。ペーパーレス化し、保管スペースも確保した。

サンアグロ株式会社 製造本部 大阪工場

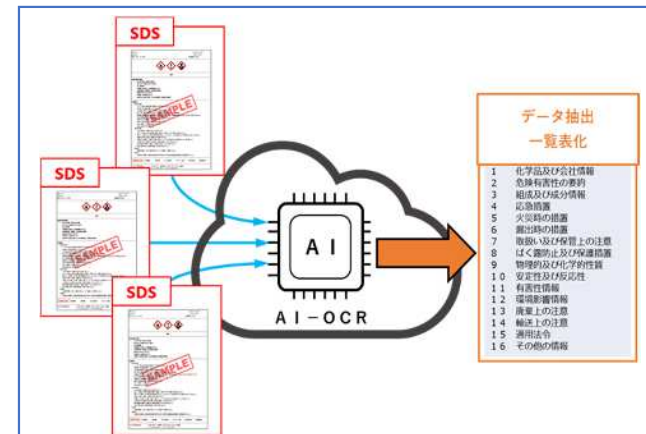
AI-OCR技術導入の事例

before

写真等

所内で使用している薬品等のSDSを収集し、手作業にて一覧表化していた（見える化、各種法令対象物質の明確化）が、作業に時間がかかることや誤入力の可能性があった。

after



OCR（光学文字認識）にAI（人工知能）を融合させたAI-OCR技術により、SDSを取り込むと自動的に記載事項の抽出、改訂前情報との差を見える化した一覧表作成システムを構築した。

日鉄建材株式会社 大阪製造所（スライド4の社名）

スライド1 化学物質一覧表を作成し、作業者へ注意喚起した事例

before



取扱い化学物質の物質名および注意喚起を明記したようなものは無く危険性の認識が無かった。

after



取扱い化学物質の物質名および注意喚起を明記した注意事項と一覧表を作成し、保管部屋の壁に貼り注意喚起を行った。

不二製油株式会社 阪南事業所

危険有害性に関する掲示の事例

before



小分け容器には化学物質名と絵表示は行っているが、危険有害性情報の表示スペースがないため、担当者に危険有害性情報が周知されない可能性があった。

after



室内の掲示板に使用する化学物質の危険有害性情報を一括掲示し、内容確認を容易にした。また、マグネット式を採用し、必要に応じて掲示場所の変更を可能とした。

三國製薬工業株式会社 豊中工場

before

本運用開始前においては、労働安全衛生法・第57条対象物質の危険性・有害性情報等をシステム上で都度検索する方法を取っていたため、研究員が作業現場でタイムリーに確認することが難しかった。

after

[illegible]

対象物質に関する危険性・有害性情報等が記載された印刷物（別紙2例参照）を実験室あるいは需給室等の目立つ場所に掲示することにより、研究員が作業現場で常時確認できる運用に変更した。

(非公開)

化学物質成分（SDS）揭示（作業者周知）

before

安衛法改正



安全データシート




SDSの内容を
作業者が知らない

問題点：安衛法改正に伴い
化学物質の成分を理解
した上で作業させていない
規制内容：SDS等による含有量
表示の適正化

after

使用化学物質SDS工程揭示



対策・措置 2024年4月～
化学物質SDS内容抜粋標識
作成、工程揭示、教育
内容：・人体に及ぼす作用
・取扱い注意事項他

掲示物対象物質及び掲示内容の事例

before



特定化学物質作業に従事する
全ての者にとって見やすい場所
に掲示板で周知

after



法改定により、一部の作業エ
リアでは、掲示板での周知が困
難の為、デジタルサイネージに
変更

パナソニック エナジー株式会社 二色の浜拠点

SDS閲覧用パソコン設置の事例

before



ファイルで紙媒体にて管理していた。確認に時間がかかる場合があった。

after

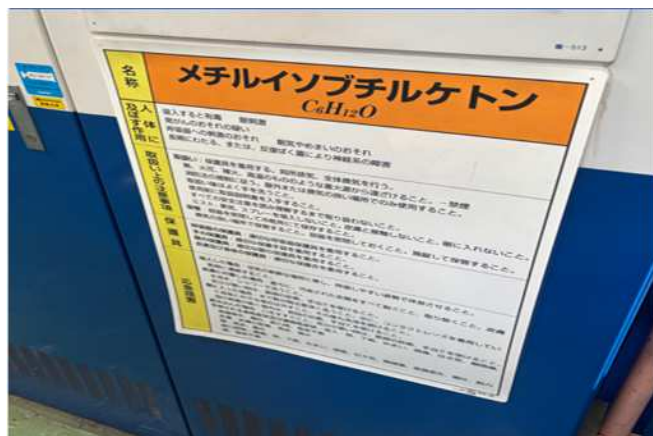


SDSデータをまとめたパソコンを化学物質と一緒に配置し、必要時にすぐに確認できるようにした。

株式会社日本ネットワークサポート 佐野工場

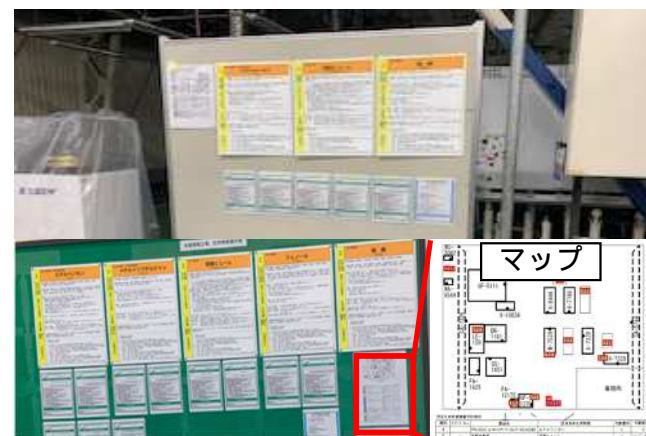
法改正による特化則・有機則の掲示の事例

before



令和4年の特化則・有機則の
掲示物に対しての法改正に対応
して化学物質の看板を掲示する
場所が定まっていなかった。
(写真は設備の制御盤に看板を直
貼りしている事例)

after



各現場における化学物質の危
険・有害性を周知できる場所に
掲示板を整備、無ければ掲示板
を作成し、現場の何処でどんな
対象物質を使用しているかを記
したマップと共に看板を掲示。

株式会社エクセディ

掲示フォーマットを使用したラベル表示

＜使用方法＞

当社で作成したExcelフォーマットに「CAS番号」を入力すると、【健康有害性等の疾病症状】【症状】【取扱い上の注意事項】【応急措置】が自動入力される。
【使用すべき保護具】欄には、「**実作業時に使用すべき保護具**」を手入力する。
フォーマットを印刷して、作業場に掲示する。

CAS番号を入力する

一覧タイプ

化学物質名称	CAS番号	主な疾病種類	主な症状	取扱い上の注意事項	呼吸用保護具	化学防護手袋	眼の保護具	保護衣	応急措置
クロロホルム	67-66-3	飲み込むと有毒 吸入すると有毒 皮膚刺激 重篤な眼の損傷 遺伝性疾患のおそれの疑い 発がんのおそれの疑い 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 呼吸器、心血管系、肝臓、腎臓の障害 悪臭またはめまいのおそれ 長期にわたる、又は反復する露による中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓の障害	頭痛・倦怠感・めまい・貧血	使用前に取扱説明書を読み、理解すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。	呼吸用保護具 化学防護手袋 眼の保護具 保護衣				【直ちに医師に連絡すること。医師の手当、診断を受けること】 ■ 吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ■ 皮膚に付着した場合 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。又は取り去ること。 皮膚を速やかに洗浄すること。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。 ■ 目に入った場合 水で数分間、注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ■ 飲み込んだ場合 口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。
塩化水素	7647-01-0	加水ガス・熱すると爆発のおそれ 飲み込むと有毒 吸入すると有害 皮膚刺激 重篤な眼の損傷・眼の損傷 遺伝性疾患のおそれの疑い 発がんのおそれの疑い 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 呼吸器、心血管系、肝臓、腎臓の障害 悪臭またはめまいのおそれ 長期にわたる、又は反復する露による中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓の障害	呼吸器・倦怠感・めまい・貧血	使用前に取扱説明書を読み、理解すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。	呼吸用保護具 化学防護手袋 眼の保護具 保護衣				【直ちに医師に連絡すること。医師の手当、診断を受けること】 ■ 吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ■ 皮膚に付着した場合 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。又は取り去ること。 皮膚を速やかに洗浄すること。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。 ■ 目に入った場合 水で数分間、注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ■ 飲み込んだ場合 口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。

看板タイプ

CAS番号を入力する

RAに基づき、必要な保護具を記載する

RAに基づき
必要な保護具
を記載する

RAに基づき必要な保護具を記載ください

三井化学株式会社 大阪工場

ステンレス製品の洗浄作業場の改善

before



洗浄薬品を小分けで上記のバケツに入れていた。バケツに薬品商品名をマジックで表示していたが、消えやすくわかりづらい状態であった。

G社 関西工場

after



マジックで表示をしても消えるため、バケツの横面に名称を書いたシートを貼り付け使用していた。しかしこれもすぐに剥がれてしまい再検討。バケツを色分けして、壁に名称を各色に分け記載し貼り付けることとした。これで間違える可能性はなくなった。

また各薬品ごとの上方にSDSシートを掲示することとした。有害性などすぐに見ることが出来る状態です。

危険物の管理方法の事例

before



現場で使用するシンナー及び使用済みウエスは決まった置き場や廃棄方法が決まっていなく、引火の危険性があった。

after

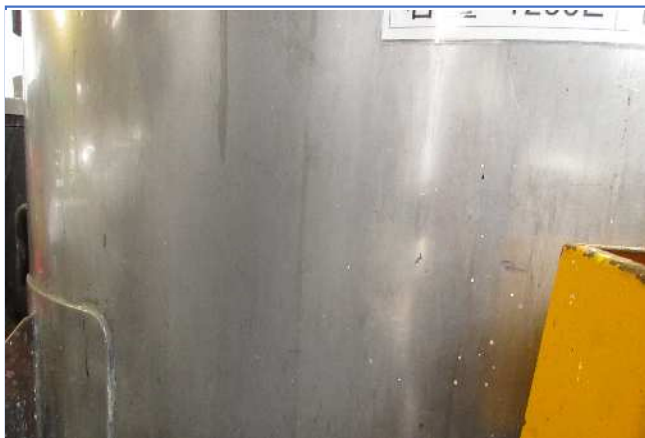


専用の鉄箱にシンナー及び使用済みのウエスを入れることにより引火の危険性がなくなった。

大阪鋼圧株式会社

静電気による爆発火災防止の事例

before



静電気火災防止のため全ての機器設備、作業時の移動タンク等に対してアース接続を行っているが、人が行っている作業であるため、まれにアースのし忘れが発生していた。

after



全ての移動タンクに対して、作業前の目に付く所にアース接続を促す表示を貼り付け、アース接続忘れがないような取り組みを行っている。

久保孝ペイント株式会社

毒物・劇物の数量管理

before



電子天秤にて重量を測定し、手書きにて数量管理を行っていたが、量り忘れが度々起こり数量が合わない問題が発生した。

after



使用中の薬品に天秤測定を促すタグを取付けることで、量り忘れが無くなった。数量管理計算シートを作成したことにより、数量管理の負担が軽減した。

株式会社 中山製鋼所

新たな化学物質規制への企業の取組み事例

リスクアセスメント・
ラベル表示・個人サン
プリング測定等

障害等防止用保護具・
フィットテスト・衛生
教育

ばく露低減措置・代替
溶剤・密閉化・局所排
気装置

化学物質管理強調月
間・資格・掲示・そ
の他